

# 高齢者・障害者歯科学

[講義] 第2学年 前期 必修 1単位

《担当者名》 歯学部教授 / 齊藤 正人      歯学部教授 / 會田 英紀  
 歯学部講師 / 倉重 圭史      歯学部助教 / 尾立 光  
 歯学部助教 / 煙山 修平      歯学部助手 / 榊原 さや夏  
 歯学部教授 / 飯田 貴俊

## 【概要】

身体・精神的な障害者（心身障害者）や介護が必要な高齢者も健常者と同等の医療を受ける権利がある。障害があるということとはどのようなことかを理解し、心身障害者の特徴や歯科的対応、要介護高齢者の特徴や歯科的対応について学習する。特に障害者や要介護高齢者に対する口腔衛生指導やブラッシング指導および口腔機能向上訓練などの口腔ケアにおける歯科衛生士の役割について学習する。

## 【学修目標】

- 障害の概念を説明する。
- 障害者の全身の特徴と歯科の特徴を説明する。
- 器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの実際について説明する。
- 摂食嚥下障害について説明する。
- 高齢者の概念を説明する。
- 要介護高齢者の全身の特徴と歯科の特徴を説明する。
- 訪問歯科保健指導を行う上での留意点を説明する。
- 医療保険と介護保険について説明する。
- 各種業務記録について説明する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 2	障害者・高齢者歯科学オリエンテーション	ワークショップ 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人 會田 英紀
3	障害者歯科の総論	心身障害者の定義 心身障害者の歯科的問題 心身障害者の特徴 歯科衛生士教本小児歯科 p110-122 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
4	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応	精神発達遅滞の概要と歯科の特徴 脳性麻痺の概要と歯科の特徴 自閉症の概要と歯科治療時の対応 歯科衛生士教本小児歯科 p110-122 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
5	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応	ダウン症の概要と歯科の特徴 てんかん発作の概要と歯科治療時の対応 進行性筋ジストロフィーの概要と歯科治療時の対応 視覚障害、聴覚障害の特徴と対応法 言語障害（唇顎口蓋裂）の概要と歯科の特徴 歯科衛生士教本小児歯科 p110-122 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏
6	器質的口腔ケアと機能的口腔ケア 摂食嚥下障害	器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの定義 器質的口腔ケアと機能的口腔ケアにおける歯科衛生士の役割 器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの実際 摂食嚥下障害の概要 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	高齢者をとりまく社会と環境	高齢社会と健康について概説できる。 高齢者にかかわる法制度について概説できる。 高齢者の居住形態・施設および入院設備の特徴について概説できる。 高齢者歯科 p1-31	煙山 修平
8	加齢による身体的・精神的変化と疾患	加齢に伴う身体的機能の変化について概説できる。 高齢者の精神・心理的变化について概説できる。 高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患について概説できる。 高齢者歯科 p34-74	煙山 修平
9	高齢者の状態の把握	高齢者の生活機能の評価について概説できる。 高齢者歯科と臨床検査について概説できる。 高齢者の栄養状態について概説できる。 高齢者の薬剤服用について概説できる。 高齢者歯科 p76-111	煙山 修平
10	口腔のケア	高齢者に対する口腔のケアについて概説できる。 有病高齢者への口腔のケアについて概説できる。 要介護高齢者への口腔のケアについて概説できる。 高齢者歯科 p114-153	尾立 光
11	摂食嚥下リハビリテーション	高齢者のリハビリテーションの概要について概説できる。 摂食嚥下の評価と対応について概説できる。 誤嚥性肺炎の予防のための訓練について概説できる。 在宅訪問歯科診療における摂食嚥下リハビリテーションについて概説できる。 介護施設における摂食嚥下リハビリテーションについて概説できる。 高齢者歯科 p156-210	煙山 修平
12	高齢者に関わる医療と介護 高齢者歯科における歯科衛生過程	在宅訪問診療の概要について概説できる。 歯科衛生士が関わる公的介護保険の概要について概説できる。 かかりつけ歯科の役割について概説できる。 訪問看護と歯科の役割について概説できる。 歯科衛生過程の概要について概説できる。 高齢者歯科 p212-263	尾立 光
13 14	障害者・高齢者歯科まとめ	ワークショップ 講義当日に参考資料を配付する。	佐々木 健 齊藤 正人 會田 英紀
15	歯科衛生士と摂食嚥下リハビリテーション	歯科衛生士に期待される摂食嚥下リハビリテーションについて理解する。	飯田 貴俊

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

ワークショップのプロダクト（必須）

定期試験

障害者歯科学：50%

高齢者歯科学：50%

#### 【教科書】

「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学」 医歯薬出版株式会社

**【参考書】**

「歯科衛生士教育マニュアル新編小児歯科学」 クインテッセンス出版株式会社

**【学修の準備】**

予習は、次回の授業範囲について指定した教科書の「歯科衛生士教育マニュアル新編小児歯科学」ならびに「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学」の当該部分を事前に読んで理解しておくこと（80分）。

復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること（80分）。

ワークショップは担当教員が準備する。筆記用具のみ持参すること。

時折小テストを実施するので学習内容の復習を行うこと。

**【実務経験】**

齊藤 正人（歯科医師）、會田 英紀（歯科医師）、倉重 圭史（歯科医師）、尾立 光（歯科医師）、煙山 修平（歯科医師）、榊原 さや夏（歯科医師）、飯田 貴俊（歯科医師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

高齢者の歯科治療、訪問歯科診療に関して十分な実務経験のある歯科医師が担当している。